



### お祝いの言葉

### ワンダー光線

校長 高橋 弘

3年生の保護者の皆様、お子様の御卒業おめでとうございます。向陽高校入学から3年間、親と子それぞれに喜びも苦しみもあったであろう様々なことを乗り越え、卒業を迎えられることに心よりお祝い申し上げます。

私は、昨年春に向陽高校に赴任してきましたので、3年生の生徒諸君とは1年に満たない短い付き合いでしたが、機会あるごとに夢や目標を常に見据え努力し、困難にあつて倒されることがあっても起き上がり、また夢に向かって歩き続けることの大切さと、その過程の中で注がれる目に見えない光、夢を実現に向けて注がれる光、ワンダー光線が必ず差してくることを生徒諸君に説いてきました。

向陽高校での3年間の中で、生徒諸君が目標を持って努力し、このワンダー光線の力を経験することは、将来様々な困難にぶつかった時、目標を目指して頑張る時の大きな力となると信じています。しかしこの力は、高校時代だけに養われるものではありません。向陽高校を卒業しても養われる力です。そして時代が変わろうとも、人の世代が変わろうとも、決して変わることはない不易の力です。卒業しても生徒諸君がこの力をさらに身に付けていって欲しいと願っています。お子様のすばらしい未来を信じて止みません。

最後になりましたが、本校教育活動に御理解と御支援をいただいた保護者の皆様に感謝申しあげ、お祝いの言葉とします。

向陽高校第 38 期生のみなさん、卒業おめでとうございます。振り返ってみてこの3年間はみなさんにとってどんなものだったでしょうか。学校というところは、その大半の時間を、教科書や問題集を使って各教科の学習に費やすところで、その教科の学習を通じて、いろんな知識や技術を身につけます。一方、学校には教科書を使わない学びもあります。部活動やホームルーム活動、生徒会活動などです。このような活動を通じて、人間関係や物事に取り組むときの段取りなどを学び、集団としての絆を深め、感性を豊かにしたりします。そのような学校での学びを通じて、みなさんはどれだけ成長することができたでしょうか。

さて、みなさんは4月から新しい世界に足を踏み出すわけですが、門出にあたり、喜多川泰さんの小説「手紙屋」にあった一節を記したいと思います。これからも元気に頑張ってください。

「人間は乗り越えた逆境の数だけ強くなれます。その数が多ければ多いほど、どんな状況にも負けない強い人になれるのです。」

1組担任 西村 徹

卒業おめでとうございます。

これまでも何度か卒業生を送り出しましたが、新入生の時から持ち上がらなかったのは今回が初めてでした。ちょうど1年前、初めて出会うみなさんを前にして、どんなクラスになるのかと多少の不安を感じたものの、すぐにその不安は杞憂に過ぎないとわかりました。活発で思いやりのある人が多く、文化祭等の学校行事では自分たちの活動として一生懸命に取り組みました。1, 2年のクラス活動や部活動で経験した様々なことがここで生かされているのだと感じました。また、進路選択というこれまで経験したことのない壁を前にして、それぞれが自分自身と向き合い乗り越えようとしていました。

3年生は高校の部活動やクラス活動の集大成の年であり、子供から大人になるための総仕上げの時期であるとも言えます。みなさんの総仕上げの時期に立ち会えたことを、今では幸運に思っています。大人になっても歩みを止めず前を見て進んでいってください。

2組担任 溝口 桂子

どんな出会いにも必ず別れはきます。でも、必ず終わるとわかっている、その出会いを大事に育てることが人生だと私は思っています。向陽に来てから、2年が経ちました。その間、君たちと時間を共有し、そして成長する姿を見ることができ、うれしかったです。ただ、成長に限界はありません。これからの新しい環境の中で、君たちが新たな発想や能力を身につけて、感情を深め、世界を広げていくことを願っています。

2月から、授業がなくなり、一気に日常が変わったと思います。何をしていましたか？人に与えられた時間は限られています。しっかり考えて、納得出来る道を切り開いてください。

「苦しくても前を向いてがんばっていこう！そして卒業おめでとう。」

3組担任 和田 直明

御卒業おめでとうございます。この卒業は、お子様自らの努力、また周囲の友人の支え、そして保護者の御支援と御協力があっはじめて成し得たものと、大変感謝しております。3年前、緊張した顔つきで校門をくぐった姿を今日の姿に重ねてみると、成長の証がつぶさに見て取れ、とても嬉しく思っております。本当にありがとうございました。

今日は向陽高校を旅立つ日ではありますが、同時に新たなスタートの日でもあります。今後幾多の試練が待ち受けているでしょうが、お子様がこれまで培ってこられたさまざまな力を活かして更なる発展を遂げ、活躍されることを期待しつつ、幸多き人生を歩まれることを祈念しております。

4組担任 西田 充

保護者の皆様、38期生諸君、御卒業おめでとうございます。

3年前の入学式でのことを覚えていますか。こんなお話がありました。「君たちは何でも自分でできる・やれる、と思っているかもしれないが、実は鳥の雛のようなものだ。巣から離れて自由に飛び回っているように思っているかもしれないが、完全に巣から離れて餌を捕ることもできない雛なんだ。だからこそ、この向陽高校での3年間で立派に巣立ちできるよう成長しよう」。いよいよその時です。皆さん一人ひとりが卒業し、これからは自分の足(翼)での歩みが始まります。すなわち、自分で自分の置かれている状況を確認、どう生きるのかを判断し、そして自らの行動を決めていくのです。

それでも、壁にぶつかることもあるでしょう。そんな時には、向陽高校での3年間の思い出してください。共に学び、時には一緒に笑い合い、時にはぶつかり合い、時には一緒に涙してくれた友人、そしていつもそばで見守り支えてくれた家族がいたからこそ、今の皆さんがいるのだと思います。どんな時も、自分を必要とし、支えてくれる人の存在や感謝の気持ちを忘れないこと。そして、背筋を伸ばして前を向き、チャレンジする気持ちを忘れないこと。それこそが、これからの時代を担っていく皆さんが、最も大切にすべきことではないでしょうか。

「人が人として生きていくのに一番大切なことは、頭の良し悪しではなく、心の良し悪しです。」

5組担任 永田 恭一

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

3年前の入学式の頃を懐かしく思い出します。当時、私もみなさんと同じく転任してきたばかりで、校舎内の教室配置などわからないことばかりでした。みなさんはきっと緊張でドキドキしていたと思いますが、迎える私も実はドキドキしていました。それから3年間。振り返るとみなさんの頭には何が浮かびますか。たくさん思い出が次々と浮かんでいることでしょうか。その中のあなたは笑顔ですか。あなたをとりまく人たちは笑顔ですか。

高校時代は終わりましたが、みなさんの長い人生はまだこれからが本番です。つらいときこそ、下をむかないでしっかり前を見て歩んでください。みなさんの毎日に笑顔が絶えないことを願っています。

6組担任 山中 多美子

### 3年生担任団

